

令和6年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

当初予算説明資料

— 目 次 —

1 予算編成方針	1
2 予算の施策方針と主な事業の概要	2
3 事業計画	6
4 収益的収入及び支出	6
5 資本的収入及び支出	6
6 債務負担行為	6
7 企業債	6
8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表	7
9 第2次水道施設整備計画位置図	9

1 予算編成方針

我が国の経済情勢は、コロナ禍の3年間を乗り越え、経済の先行きには前向きな動きが見られている一方で、個人消費は依然力強さを欠いており再びデフレに戻るリスクがあることに加え、潜在成長率が低い水準で推移しているという課題を抱えています。

このような情勢において、政府は「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定し、日本経済が熱量溢れる新たなステージへ移行するためのスタートダッシュを図ることとしています。

また、水道整備・管理行政に関しては、人口減少社会の到来に伴う水道事業者の経営環境の悪化、水道施設の老朽化や耐震化への対応等の課題に取り組むことが強く求められるようになってきていることを背景として、令和6年4月から水道法等による権限を厚生労働大臣から国土交通大臣等に移管することとしています。

こうした状況下において、本企業団に目を向けますと、令和5年度においては前年度と比較して給水人口については増加しているものの、コロナ禍で高まっていた水需要が落ち着きつつあり有収水量及び給水収益が減少しています。また、水道施設整備事業は、工事費の上昇に対応するため、当初の計画から企業債を増額して財源を確保しつつ、県補助金や内部留保資金を活用し老朽管路や水道施設の更新を進めています。

令和6年度においても、基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて、引き続き第3次アクア・シンフォニー計画に掲げる「安全」「強靱」「持続」の各事業目標を確実に達成していく必要があります。燃料価格や物価上昇により事業運営に要する費用が高い水準で推移している中で、経営の根幹である給水収益の減収が収支を悪化させており、更新計画に大きな影響を及ぼしていますが、安心安全な水道水を安定的に供給するため、内部留保資金や企業債残高に留意しながら、第2次水道施設整備計画を始めとした各種事業を実施していきます。

令和6年度の予算編成にあたっては、こうした局面を乗り切るために、限られた財源を有効に配分することを考慮し、編成しました。

2 予算の施策方針と主な事業の概要

★★水道事業ビジョン★★
第3次アクア・シンフォニー計画
(令和3年度～令和12年度)

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、水質検査の正確性や分析技術の向上を図ります。

・適正な水質管理 … 1,100万円

(一部農薬項目等の水質検査業務委託他)

・水質検査精度管理 … 1,678万円

(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)

・水安全計画の検証 … 242万円

(水安全計画の改定)

2. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続します。

・施設警備委託 … 254万円

(水道施設警備業務委託)

計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新します。

・老朽管路の更新 … 16億4,801万円

(東郷町白鳥2丁目他地内配水管布設替工事始め19件 L=13,370m)

2. 災害時に備えるため、基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行います。

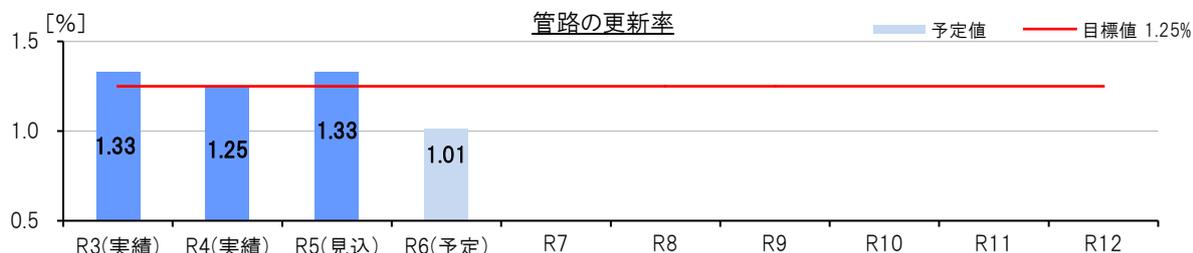
・基幹管路の耐震化 … 2億7,741万円

(横道グリーン線配水管布設替工事その20始め3件 L=571m、基幹管路耐震化に伴う設計委託2件)

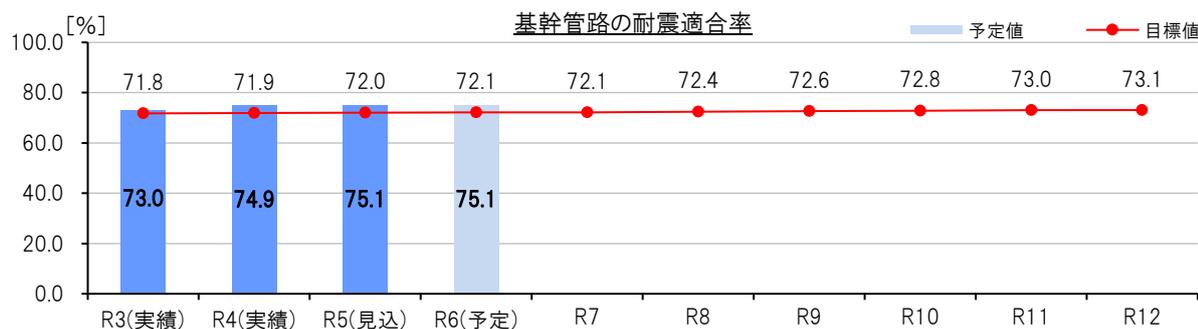
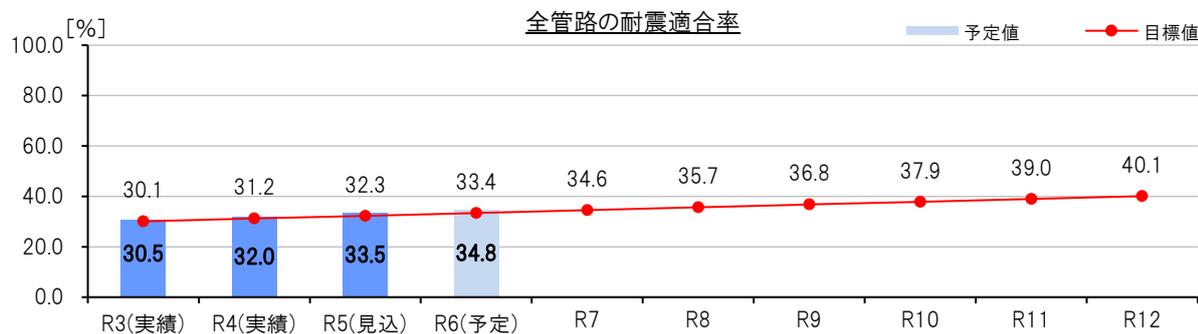
・重要給水施設管路の耐震化 … 3億1,853万円

(東山三吉小線配水管布設替工事その2始め5件 L=1,779m)

第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路の更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。



※管路耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K型継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。

※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

II 水道施設のレベルアップ

(主な事業)

1. 水道水を継続的に供給していくため、水道施設を適切に維持管理し、老朽化した施設を計画的に更新します。

・ 配水池のリフレッシュ …… 550万円 (東郷配水場配水池内部清掃業務委託)

・ 遠方監視システムの適正管理 …… 7,970万円

(計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他)

2. 水道事故を未然に防止するため、管路を適切に維持管理します。

・ 漏水調査 …… 3,891万円 (漏水調査業務委託他)

・ 仕切弁等点検 …… 881万円 (管路施設点検業務委託)

・ 管洗浄等の実施 …… 3,032万円 (水管橋塗装工事、配水管内クリーニング工事他)

3. 区画整理事業や公共工事と同調し、効率的に配水管を整備します。

・ 区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 6億770万円

(豊明間米南部土地区画整理内配水管布設工事その1 始め7件 L=9,497m、
区画整理事業に伴う設計委託1件)

・ 公共工事と同調した配水管整備 …… 2億4,674万円

(日進市本郷町古郷地内配水管布設替工事その4 始め9件 L=2,032m)

III 危機管理対策の推進

(主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備します。

・ 災害用資機材の確保 …… 265万円

(MCA無線リース料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料他)

計画3 「持続」 いつも信頼できる水道システム

I 水道水の安定供給

(主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行います。

また、老朽化や水質状況を考慮し、自己水源の適切な維持管理を行います。

・ 県営水道からの受水 …… 24億837万円

(承認基本給水量 102,500m³/日、年間予定受水量 33,904,000m³)

・ 自己水源の合理化 …… 2,465万円

(水源施設に係る電力料他)

II お客様との連携の促進

(主な事業)

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、サービスのさらなる向上を図ります。
 - ・ 給水事務の迅速化 …… 285万円（給水システム保守業務委託）
 - ・ 配水補助管助成金制度の継続 …… 2,845万円（配水補助管助成金）
2. 将来を担う子どもたちを対象として、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行います。
 - ・ 水道学習の実施 …… 36万円（小学生を対象とした水道学習用パンフレット）
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する情報を分かりやすく提供します。
 - ・ 広報広聴活動 …… 351万円
(広報誌「ふれっしゅ水道」(年間2回発行、予定部数282,000部)作成委託他)

III 持続可能な水環境づくり

(主な事業)

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続します。
 - ・ 太陽光発電設備、電気自動車の活用 …… 19万円（太陽光発電設備の年次点検業務委託）
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに、ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備を継続します。
 - ・ 「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 1,977万円
 - ・ 水源地域との交流事業 …… 100万円

〔ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備活動の実施、
水源地環境整備促進事業助成金他〕

IV 健全かつ安定した事業運営

(主な事業)

1. 自己財源の負担軽減を図るため、各種補助金制度を活用して財源の確保に努めます。
 - ・ 補助金制度の活用 …… 4,169万円（愛知県生活基盤施設耐震化等補助金）
2. 事業実施に必要な財源を確保し健全経営を継続するため、企業債の適正な借入に努めます。
 - ・ 企業債の適正借入 …… 5億円（利率が4.0%以内の公的資金を借入れ）

V 人材育成・組織力の強化

(主な事業)

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、研修内容を改善し充実させます。
 - ・ 職員教育の充実 …… 274万円（内部・外部研修の実施）

3 事業計画

(1) 業務の予定量

区 分	単位	令和6年度 予定 A	令和5年度		増減 C (A-B)	増減率(%) (C/B)
			当初予定 B	見 込		
給 水 戸 数	戸	140,800	139,400	140,300	1,400	1.0%
給 水 人 口	人	328,300	328,800	327,900	△ 500	△ 0.2%
総 給 水 量	千m ³	34,406	35,317	34,660	△ 911	△ 2.6%
(うち県営水道受水量)	千m ³	33,904	34,776	34,095	△ 872	△ 2.5%
有 収 水 量	千m ³	32,583	33,410	32,788	△ 827	△ 2.5%
有 収 率	%	94.7	94.6	94.6	0.1	0.1%
1 日 平 均 給 水 量	m ³	94,005	96,759	94,959	△ 2,754	△ 2.8%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	リットル	286.3	294.3	289.6	△ 8.0	△ 2.7%
1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	リットル	271.2	278.4	274.0	△ 7.2	△ 2.6%
職 員 数	人	99	99	99	0	0.0%

(2) 建設改良事業の概要

科 目	予算額	主な事業
配 水 設 備 改 良 費	3,948,227千円	第2次水道施設整備事業 土地区画整理等受託事業
固 定 資 産 購 入 費	82,030千円	図面管理システム機器更新

4 収益的収入及び支出

水道事業収益7,584,656千円に対して、水道事業費用は6,615,918千円で差引き968,738千円が税込み当年度純利益となります。なお、消費税及び地方消費税を整理すると766,387千円の税抜き当年度純利益となります。

5 資本的収入及び支出

資本的収入1,607,640千円に対して、資本的支出は4,225,466千円となり、差引き不足額2,617,826千円は、減債積立金8,000千円、建設改良積立金142,160千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額197,066千円、過年度分損益勘定留保資金1,233,815千円、当年度分損益勘定留保資金1,036,785千円で補てんする予定です。

6 債務負担行為

事 項		期 間	限度額
老 朽 管 路 更 新 工 事	豊明市、みよし市、長久手市地内	令和7年度	219,461千円
	豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町地内	令和7年度 から 令和8年度 まで	1,821,919千円
配 水 区 再 編 工 事	日進市地内	令和7年度 から 令和8年度 まで	221,903千円

7 企業債

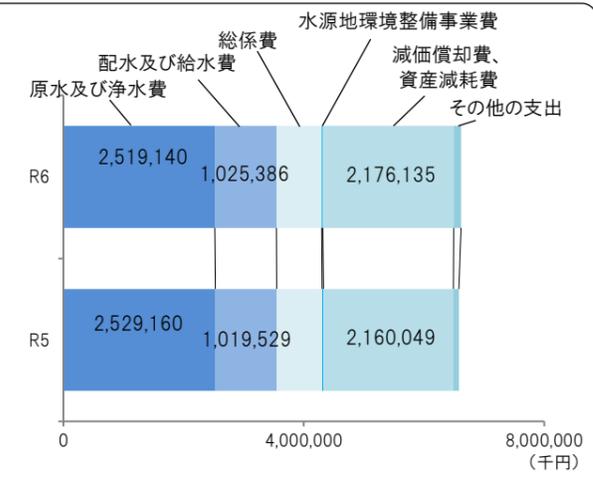
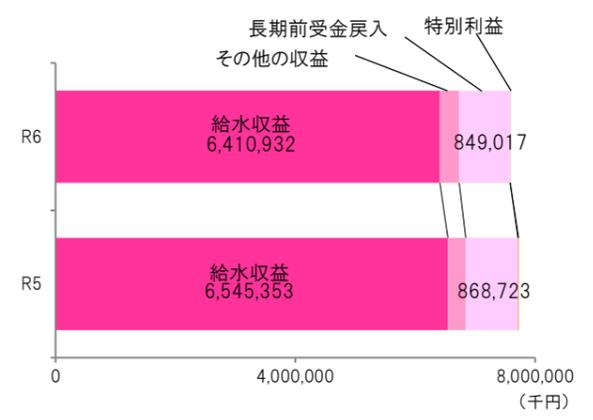
配水設備改良事業の財源として、限度額を500,000千円と定め、利率が4.0%以内の公的資金を借り入れる予定です。

8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表

(1) 収益的収支 ※収益的収支（損益勘定）とは、1年間で水道水を供給して得る収入と供給に要する費用（支出）の内訳を表すものです。〔予算書P4～P5〕

(単位:千円)

収入科目	令和6年度 予定額	令和5年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
営業収益	6,685,195	6,802,148	△ 116,953	△ 1.7%		<p>《収益的収入》</p> <p>①営業収益のうち給水収益は、供給単価は増加するものの、1人1日当たりの使用水量の減少により、前年度と比べて134,421千円(△2.1%)の減少となります。</p> <p>②営業外収益のうち長期前受金戻入は、長期前受金を財源として取得した構築物の除却の減少により、前年度と比べて19,706千円(△2.3%)の減少となります。</p> <p>③特別利益のうちその他特別利益は、退職給付引当金戻入益の減少により、前年度と比べて11,918千円(△82.7%)の減少となります。</p>
給水収益	6,410,932	6,545,353	△ 134,421	△ 2.1%	水道料金及び水道水源環境保全基金収入	
受託工事収益	803	803	0	0.0%		
その他営業収益	236,230	235,723	507	0.2%	給水工事に伴う設計事務費、下水道徴収事務負担金他	
他会計負担金	37,230	20,269	16,961	83.7%	消火栓等維持管理負担金他	
営業外収益	896,967	909,184	△ 12,217	△ 1.3%		
受取利息	3,244	3,244	0	0.0%	預金利息、有価証券利息他	
長期前受金戻入	849,017	868,723	△ 19,706	△ 2.3%	減価償却費等に対応する長期前受金の収益化	
雑収益	44,706	37,217	7,489	20.1%	行政財産目的外使用料他	
特別利益	2,494	14,412	△ 11,918	△ 82.7%		
その他特別利益	2,494	14,412	△ 11,918	△ 82.7%	退職給付引当金戻入益	
水道事業収益計(A)	7,584,656	7,725,744	△ 141,088	△ 1.8%		<p>《収益的支出》</p> <p>④原水及び浄水費は、動力費等の減少等により、前年度と比べて10,020千円(△0.4%)の減少となります。</p> <p>⑤配水及び給水費は、水道施設補修工事に伴う修繕費の増加等により、前年度と比べて5,857千円(0.6%)の増加となります。</p> <p>⑥減価償却費は、新規稼働資産の増加により、前年度と比べて7,525千円(0.4%)の増加となります。</p> <p>⑦資産減耗費は、水道施設撤去工事に伴う除却費の増加により、前年度と比べて8,561千円(8.0%)の増加となります。</p>
支出科目	令和6年度 予定額	令和5年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	
営業費用	6,496,308	6,490,429	5,879	0.1%		
原水及び浄水費	2,519,140	2,529,160	△ 10,020	△ 0.4%	県営水道受水費他	
配水及び給水費	1,025,386	1,019,529	5,857	0.6%	配水施設等維持修繕費他	
受託工事費	803	803	0	0.0%		
総係費	751,711	755,519	△ 3,808	△ 0.5%	検針・収納等営業業務委託料他	
議会及び監査費	2,362	2,687	△ 325	△ 12.1%		
水源地環境整備事業費	20,771	22,682	△ 1,911	△ 8.4%	水源地環境整備事業助成金他	
減価償却費	2,060,425	2,052,900	7,525	0.4%	有形固定資産構築物他	
資産減耗費	115,710	107,149	8,561	8.0%	用途廃止資産の除却費及び施設撤去費他	
営業外費用	119,574	89,456	30,118	33.7%		<p>《当年度純利益》</p> <p>⑧税込の当年度純利益は、968,738千円となり、前年度と比べて177,121千円(△15.5%)の減少となります。また、消費税分を整理した税抜の当年度純利益は766,387千円となり、現金の裏付けのない収入である長期前受金戻入を除いた純利益は△82,630千円となります。</p>
支払利息及び企業債取扱諸費	37,671	34,117	3,554	10.4%		
雑支出	5,080	5,100	△ 20	△ 0.4%	過年度分水道料金減免他	
消費税及び地方消費税	76,823	50,239	26,584	52.9%		
特別損失	36	0	36	皆増		
過年度損益修正損	36	0	36	皆増	貸倒損失(破産更生債権分)	
水道事業費用計(B)	6,615,918	6,579,885	36,033	0.5%		
当年度純利益(A-B)	968,738	1,145,859	△ 177,121	△ 15.5%		



(千円)

当年度純利益(税込)	968,738
当年度純利益(税抜)	766,387
現金の裏付けのない収入(長期前受金戻入)	849,017
長期前受金戻入を除く純利益(△は純損失)	△ 82,630

一部を資本金へ

(2) 資本的収支

※資本的収支（資本勘定）とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費（支出）と、その財源（収入）の内訳を表すものです。 [予算書P6～P7]

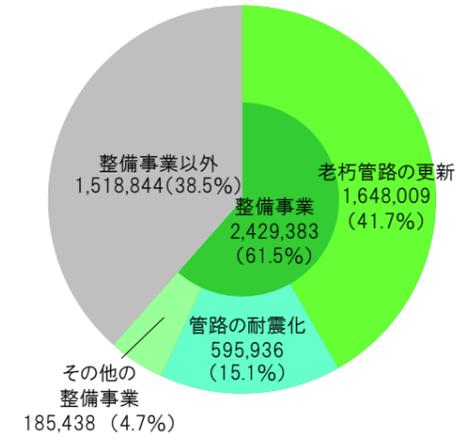
(単位:千円)

収入科目	令和6年度 予定額	令和5年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
企業債	500,000	500,000	0	0.0%	配水設備改良事業の財源として借入れ
県補助金	41,690	40,267	1,423	3.5%	重要給水施設管路耐震化事業に対する県補助金
工事負担金	1,065,642	836,966	228,676	27.3%	土地区画整理等受託事業に伴う負担金他
固定資産売却代金	308	348	△ 40	△ 11.5%	公用車処分に伴う帳簿原価
資本的収入計 (C)	1,607,640	1,377,581	230,059	16.7%	
支出科目	令和6年度 予定額	令和5年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
建設改良費	4,030,257	4,210,925	△ 180,668	△ 4.3%	
配水設備改良費	3,948,227	4,175,805	△ 227,578	△ 5.4%	水道施設整備事業、土地区画整理等受託事業他
固定資産購入費	82,030	35,120	46,910	133.6%	図面管理システム機器更新他
企業債償還金	191,548	211,307	△ 19,759	△ 9.4%	
補助金返還金	3,661	4,760	△ 1,099	△ 23.1%	令和5年度県補助金に含まれる消費税相当額の返還分
資本的支出計 (D)	4,225,466	4,426,992	△ 201,526	△ 4.6%	
差引額 (C-D)	△ 2,617,826	△ 3,049,411	△ 431,585	△ 14.2%	△の場合は収入が不足

《資本的収入》
⑨配水設備改良事業の財源として、限度額を500,000千円と定め、企業債の借入れを行います。

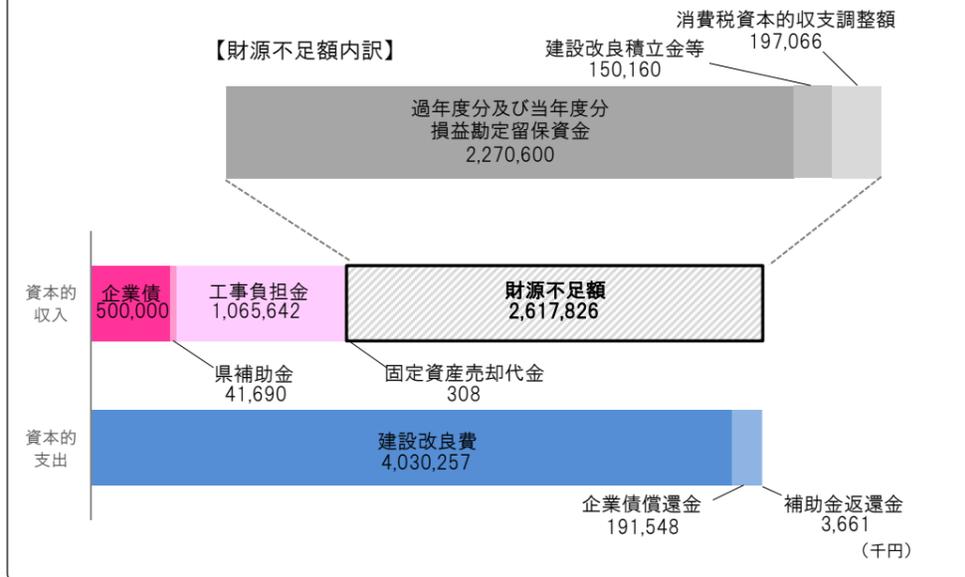
《資本的支出》
⑩水道施設整備事業として、東郷町白鳥2丁目他地内を始めとした老朽管路の更新事業を1,648,009千円(13,370m)、管路の耐震適合率の向上のため、三ヶ峯幹線を始めとした管路の耐震化事業を595,936千円(2,350m)を行います。その他に、電気計装設備の更新等を185,438千円行います。

◎管路耐震適合率(対前年度見込増減)
全管路 … 34.8% (1.3ポイント増)
基幹管路 … 75.1% (増減なし)



《資本的収支 財源不足額》

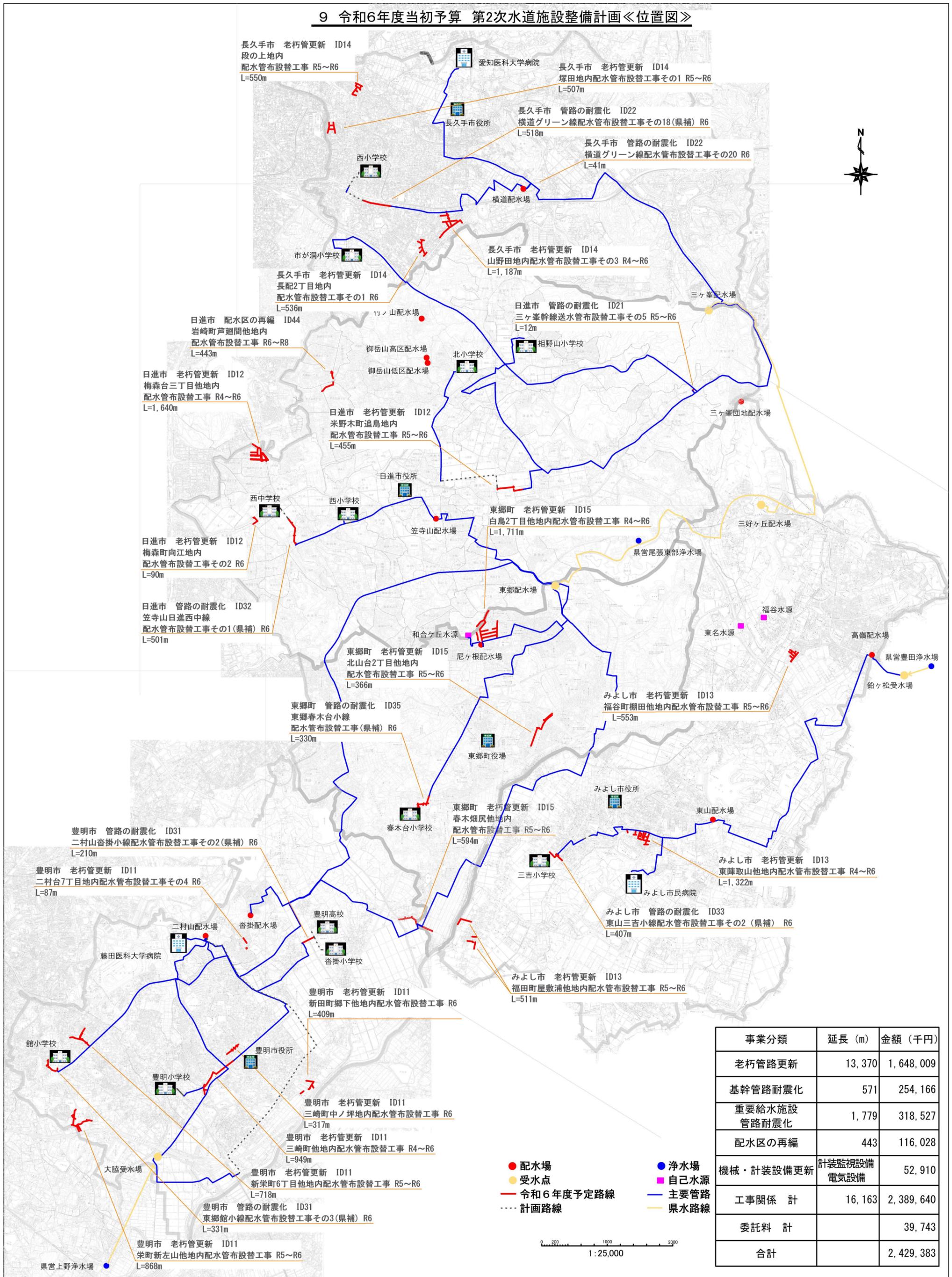
①資本的収入額1,607,640千円に対して、資本的支出額は4,225,466千円となり、2,617,826千円の財源不足額が発生します。
②財源不足額については、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金と前年度以前の純利益を利益処分し、積み立てられた建設改良積立金等で補てんします。



※令和6年度資金繰越額 (単位:千円)

収益的収支	収益的収入 (A)	7,584,656
	収益的支出 (B)	6,615,918
	うち現金を伴わない支出 (減価償却費、資産減耗費等)	2,146,981
	純利益 (A-B)	968,738
	うち長期前受金戻入を除いた利益	△ 82,630
資本的収支	資本的収入 (C)	1,607,640
	資本的支出 (D)	4,225,466
	収支不足額 (C-D)	△ 2,617,826
前年度資金繰越額 ①	1,410,530	
当年度資金発生額 ②	2,261,417	
当年度純利益 (△は純損失)	△ 82,630	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	197,066	
当年度分損益勘定留保資金	2,146,981	
財源充当額 ③	2,617,826	
翌年度資金繰越額 (① + ② - ③)	1,054,121	

9 令和6年度当初予算 第2次水道施設整備計画《位置図》



事業分類	延長 (m)	金額 (千円)
老朽管路更新	13,370	1,648,009
基幹管路耐震化	571	254,166
重要給水施設 管路耐震化	1,779	318,527
配水区の再編	443	116,028
機械・計装設備更新	計装監視設備 電気設備	52,910
工事関係 計	16,163	2,389,640
委託料 計		39,743
合計		2,429,383